

文京区地球温暖化対策地域推進計画に基づく実績報告

1. 文京区地球温暖化対策地域推進計画の概要

文京区地球温暖化対策地域推進計画（以下「計画」という。）は、区民・団体、事業者、区のあらゆる主体で取り組み、地域に係る気候変動対策を総合的、計画的に進め、地球温暖化防止に貢献することを目的として、2010（平成22）年3月に策定し、2015（平成27）年3月に計画の中間見直しを行いました。そして、2020（令和2）年3月には、国内外の変化への対応を図り、これまでの計画の進捗状況と課題等を踏まえ、計画の目標や実施していく施策を定めるため改定を行いました。

本計画は、「文京区環境基本計画」の基本目標の1つである「未来へつなぐ脱炭素のまち～CO₂削減で地球温暖化防止～」を実現するための施策等を定める個別計画として位置づけます。

計画期間は、国の温室効果ガス排出削減目標の年度を考慮し、2020（令和2）年度から2030（令和12）年度までの11年間です。

また、国の「地球温暖化対策実行計画」と整合を図り、削減目標の基準年度は2013（平成25）年度、目標年度は2030（令和12）年度としています。

図 1-1 計画の方向性とクールアース文京都市ビジョン
 <文京区地球温暖化対策地域推進計画の方向性とクールアース文京都市ビジョン>

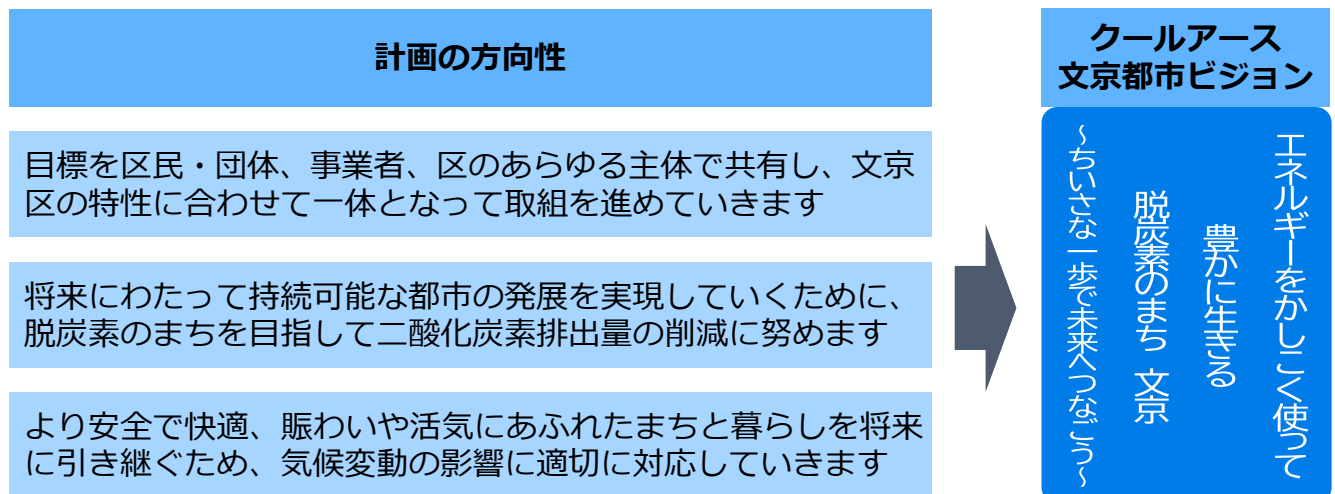


図 1-2 クールアース文京都市ビジョンのイメージ



2. 二酸化炭素削減目標と進捗状況

本計画で定める削減目標は、文京区全体の二酸化炭素排出量の総量を基準年度比で 28%削減することです。これに加えて、区の二酸化炭素排出量に占める割合が大きい民生（家庭）部門と民生（業務）部門について、部門別の目標が設定されています。

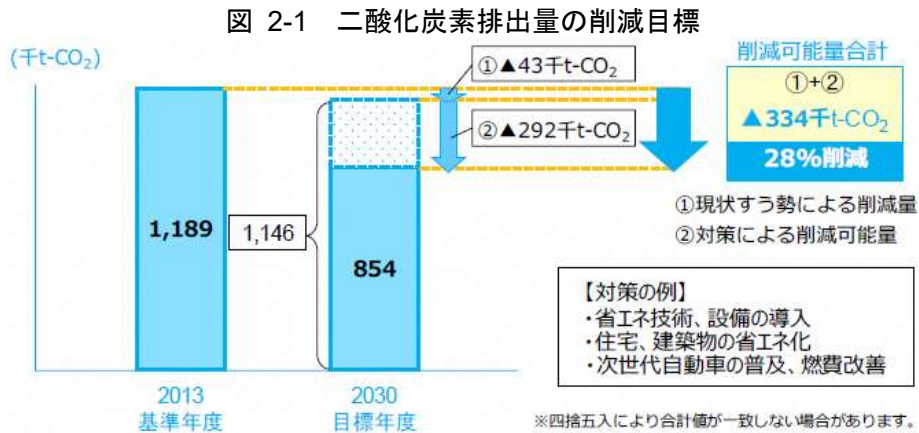


表 2-1 削減目標

総量目標	2013(平成 25)年度比 削減率	▲28%
部門別目標	民生(家庭)部門 1世帯当たり	▲794kg-CO ₂ (削減率 ▲28%)
	民生(業務)部門 床面積 100 m ² 当たり	▲3,585kg-CO ₂ (削減率 ▲34%)

2.1 進捗評価方法

<総量目標>

基準年度の二酸化炭素排出量 1,189 千 t-CO₂から、28%削減後の二酸化炭素排出量 854 千 t-CO₂へ目安線を引き、各年度の実績値が目安線より下回っているかを把握します。目安線より下回った場合◎、目安に対してほぼ同等の場合○、目安線を上回った場合は△とします。

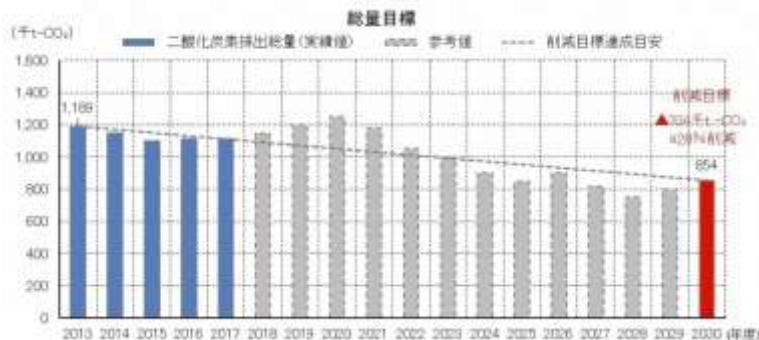
<部門別目標>

民生（家庭）部門、民生（業務）部門も同様に基準年度値から目安値への参考線を引き、各年度の実績値が目安線より下回っているか把握します。目安線より下回った場合◎、おおむね目安線通りの場合○、目安線を上回った場合は△とします。

表 2-2 目標の進捗評価方法

		現状の評価
推移（傾向）	2030 年度目安に対して下回った（良好）	◎
推移（傾向）	2030 年度目安に対してほぼ同等	○
推移（傾向）	2030 年度目安に対して上回った（不良）	△

図 2-2 削減目標達成状況（総量）イメージ図



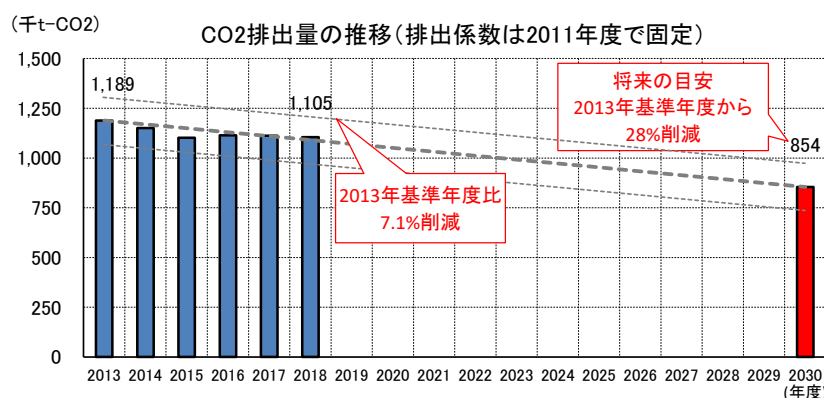
2.2 進捗結果

文京区における二酸化炭素総排出量は、オール東京 62 市区町村共同事業「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」による「温室効果ガス排出量算定手法に関する説明書」（以下、温室効果ガス排出量算定ソフト）を基に把握しています。2018（平成 30）年度の二酸化炭素排出量（総量）は、前年度より 7 千 t-CO₂ 減少し、基準年度（2013（平成 25）年度）比で 7.1%の減少となりました。参考線よりやや上回っていますが、概ね順調に減少しています。

2018（平成 30）年度の民生（家庭）部門 1 世帯当たり二酸化炭素排出量と民生（業務）部門延べ床面積 100 m²当たり二酸化炭素排出量はともに参考線を下回り順調に減少しています。民生（家庭）部門 1 世帯当たり二酸化炭素排出量は 2013（平成 25）年度比で 272（kg-CO₂）、民生（業務）部門延べ床面積 100 m²当たり二酸化炭素排出量は 2013（平成 25）年度比で 1,493（kg-CO₂）の削減となっています。

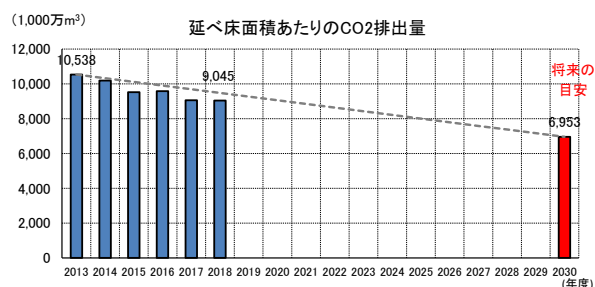
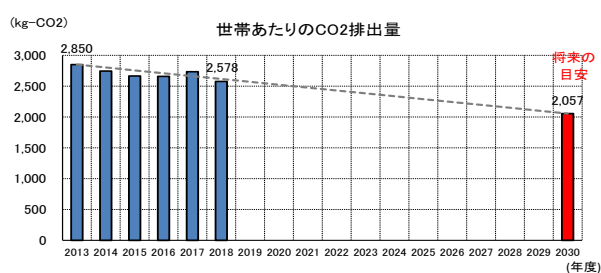
総量目標	基準年度		実績	基準年度比削減率(%)	評価	将来の目安
	2013	2017				
2013(平成 25)年度比削減量(千 t-CO ₂)	1,189	1,112	1,105	▲7.1%	○	854

図 2-3 総量目標の推移



部門別目標	基準年度		実績	基準年度比	評価	将来の目安
	2013	2017				
民生（家庭）部門 1 世帯当たり二酸化炭素排出量 (kg-CO ₂)	2,850	2,734	2,578	▲272	◎	▲794
民生（業務）部門延べ床面積 100 m ² 当たり二酸化炭素排出量 (kg-CO ₂)	10,538	9,059	9,045	▲1,493	◎	▲3,585

図 2-4 部門別目標の推移



【参考指標】

指標に使用しているデータは温室効果ガス排出量算定ソフトから把握していますが、国等の統計公表の時期により実績を把握できるのが、約3年遅れとなります。前計画では、区域における主要なエネルギー消費量である、直近年度の電力消費量と都市ガス消費量の実践値を事業者の協力を得て入手することで最新の状況を把握していました。しかし電力小売全面自由化、都市ガス小売全面自由化が施行されたことから、このデータの入手が困難となりました。

エネルギー消費量の実績値の入手が困難となったため、エネルギー消費量を独自の推計により算出し、エネルギー消費量の参考指標として示します。

なお、国や都の統計公表時期等の影響により、事業者（民生（業務）部門）は2019（令和元）年度、区民（民生（家庭）部門）は2020（令和2）年度の電力消費量及び都市ガス消費量の推計結果を示します。

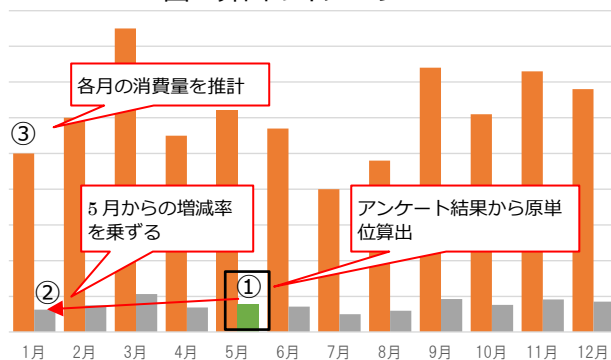
1.区民（民生（家庭）部門）

《算出の考え方》

毎年実施する「区民アンケート」の5月分の電力・都市ガス消費量を拡大推計し、民生（家庭）部門の電力・都市ガス消費量を推計

- ① アンケート結果に基づき、5月の世帯当たりの電力・都市ガス消費原単位を作成
- ② 「家庭におけるCO₂実態調査」の統計データに基づき、関東甲信地域の都市階級1（政令指定都市、特別区、県庁所在）における月別の電力・都市ガス消費量について、複数年における5月からの平均的な増減率を設定し、文京区における5月以外の月における世帯当たりの電力・都市ガス消費原単位を算出
- ③ ②の世帯当たりの電力・都市ガス消費原単位と推計年度の世帯数を乗じることで、民生（家庭部門）における電力・都市ガス消費量を推計

図 算出のイメージ



《推計結果》

表 2-3 区民（民生（家庭）部門）の電力消費量（参考値及び実績値）

電力消費量 (MWh)	2017	2018	2019	2020	2021	2022
参考値（推計値）	-	-	432,991	432,256	-	-
オール東京実績値	525,875	511,926	-	-	-	-

表 2-4 区民（民生（家庭）部門）の都市ガス消費量（参考値及び実績値）

都市ガス消費量 (千m ³)	2017	2018	2019	2020	2021	2022
参考値（推計値）	-	-	47,102	52,896	-	-
オール東京実績値	38,321	35,941	-	-	-	-

2.事業者（民生（業務）部門）

《算出の考え方》

下記のとおり、大規模事業者、中小規模事業者それぞれ推計し、足し合わせる。

■大規模事業所

事業者のエネルギー消費量自体のデータは、経営上の観点から公表等はされないため、東京都が毎年公表している総量削減義務と排出量取引制度における大規模事業所のエネルギー起源二酸化炭素排出量から電力消費量、都市ガス消費量を推計

- ① オール東京算定ソフトを用いて、民生（業務）部門の複数年におけるエネルギー起源二酸化炭素排出量に占める電力由来、都市ガス由来の二酸化炭素排出量の平均的な割合を設定
- ② 事業者ごとのエネルギー起源二酸化炭素排出量および①電力由来、都市ガス由来の二酸化炭素排出割合を乗じて、電力排出係数、都市ガス排出係数を除算することで電力消費量、都市ガス消費量を推計

■中小規模事業所

- ③ 東京都の地球温暖化対策報告書制度から登録されている区内中小規模事業所の延床面積あたりのエネルギー起源二酸化炭素排出量原単位を作成
- ④ ③事業者ごとの延床面積あたりエネルギー起源二酸化炭素排出量および①電力由来の二酸化炭素排出割合、都市ガス由来の二酸化炭素排出割合を乗じて、電力排出係数、都市ガス排出係数を除算することで延床面積あたりの電力消費量、都市ガス消費量を推計
- ⑤ ④事業者ごとの延床面積あたりの電力消費量、都市ガス消費量から中小規模事業所の延床面積あたりの電力消費量、都市ガス消費量平均値を算出
- ⑥ ⑤中小規模事業者の延床面積あたりの電力消費量、都市ガス消費量平均値に中小規模事業所の延床面積を乗じて電力消費量、都市ガス消費量を推計

《推計結果》

表 2-5 事業者（民生（業務）部門）の電力消費量（参考値及び実績値）

電力消費量（MWh）	2017	2018	2019	2020	2021	2022
参考値（推計値）	952,082	881,079	953,603	—	—	—
オール東京実績値	1,111,494	1,143,778	—	—	—	—
比率（推計値/実績値）	0.86	0.77	—	—	—	—

表 2-6 事業者（民生（業務）部門）の都市ガス消費量（参考値及び実績値）

都市ガス消費量（千 m^3 ）	2017	2018	2019	2020	2021	2022
参考値（推計値）	34,306	30,967	34,222	—	—	—
オール東京実績値	38,955	37,717	—	—	—	—
比率（推計値/実績値）	0.88	0.82	—	—	—	—

3. 文京区における行動計画（アクションプラン）の実施状況

本計画に基づいて2020（令和2）年度に本区が実施した主なアクションプランについて、5つの分野ごとに取組内容をまとめました。

分野1 省エネルギーの推進

1-1 暮らしにおける環境配慮行動

省エネルギー型家庭用機器の導入支援及び情報提供や啓発による日常生活における省エネルギー行動の促進

1-2 事業活動における環境配慮行動

省エネルギー機器導入支援策及び事業活動における省エネルギー行動の促進

1-3 区の率先行動

区有施設における省エネルギー設備・機器等の導入等、建築物における各種省エネルギー対策及び区職員の率先的な環境配慮行動の実践

<2020（令和2）年度の主な取組内容>

1-1 暮らしにおける環境配慮行動

- 省エネルギー設備（家庭用燃料電池、蓄電池等）設置助成を行いました。（81件）【環境政策課】
- 区報や区HPで、省エネルギー効果がある移動手段（エコドライブ（急発進をやめる、加減速の少ない運転等））について周知・啓発しました。【環境政策課】
- 自転車シェアリング事業、レンタサイクル事業の実施や、自転車利用について区報、区HP、リーフレット等により周知しました。【管理課】
- 区報や区HPで、コミュニティバス「B-ぐる」や電車等の公共交通機関の利用促進を行いました。【区民課】【環境政策課】
- 区HPで電気自動車急速充電スタンド設置について情報提供しました。【環境政策課】
- わが家の省エネチャレンジ事業を実施しました。（26世帯参加）【環境政策課】
- 区報や区HPの推進計画コラムで、環境に配慮した消費者（グリーンコンシューマー）行動の普及促進を行いました。【環境政策課】
- 家庭の日啓発事業で、植物の種を区立小学校全児童へ配布しました。【児童青少年課】
- 公衆浴場の利用により省エネルギーとなる、湯遊入浴デー及びシニア入浴事業を実施しました。（湯遊入浴デー：9月第4日曜日・1月第2日曜日の2回、シニア入浴事業：年52回）【生活衛生課】

1-2 事業活動における環境配慮行動

- 低炭素建築物の認定を行いました。（88件）【建築指導課】
- 中小企業への省エネルギー促進のための省エネ設備補助を行いました。（7件）【経済課】
- 東京都の省エネルギー診断について、区HP及びチラシ配架等で周知しました。【環境政策課】

1-3 区の率先行動

- カーボン・オフセット導入を行いました。【環境政策課】
- グリーン購入及び環境配慮契約法の推進を行いました。【環境政策課】
- チャットボットによる「ごみ分別案内サービス」を活用しました。（アクセス数43,318件、LINEの友だち登録者数2,685名、LINEによる情報提供（プッシュ式）30回）【リサイクル清掃課】
- 地域推進協議会を2回開催しました。（新型コロナウイルス感染症のため書面開催）【環境政

策課】

- 日常的な省エネルギー行動（クールビズ、ノー残業デー、ノー残業デー推進期間）を実施しました。【職員課】
- リース機器調達等の際に、省エネ型OA機器を導入できるよう、契約書類に記載しました。【情報政策課】
- 不要な照明の消灯、階段の2アップ3ダウンを職員に呼びかけました。【施設管理課】
- コピー用紙の注文票に、参考数値として各課の累計注文箱数を掲載して意識高揚を図り、紙類購入枚数を削減しました。【総務課】
- 湯島高齢者在宅サービスセンターの照明設備をLED化しました。（105台）【整備技術課】
- RPA（ロボットによる業務自動化）・AI（人工知能）等の活用による業務改善として、RPAによる超過勤務命令の入力（約1,200件）、RPAによる総価単価契約執行処理・検査結果入力・支出命令の入力（約2,200件）、システム委員会の議事録の作成をAI議事録で作成（年2回）を実施しました。【情報政策課】

【周知・啓発】

- 毎月の区報や庁内放送で「文京版クールアース・デー」における身近な取組の情報発信をしました。【環境政策課】
- 計画概要版の配布により、省エネの取組等について啓発を行いました。（区立小学校5年生、区立中学校1年生対象）【環境政策課】
- CATVにて環境ライフ講座（前編：文京区における地球温暖化対策の取組、後編：エコライフの実践）を放送し、身近な取組等を紹介しました。【環境政策課】
- 次世代を担う子どもたちへの環境教育の推進のため、環境教育教材等を送付しました。（2回）【教育指導課】
- 区HPで家庭や事業所の省エネにつながる東京都等の情報や助成事業を紹介しました。【環境政策課】
- 「明日通信（文京区地球温暖化対策ニュース）」（6回）、「シビックセンターニュース」（5回）を発行し職員への啓発を行いました。【環境政策課・施設管理課】
- 地球温暖化に関する職員研修を実施しました。【環境政策課】

<わが家の省エネチャレンジ事業>

各家庭が省エネライフを3か月間実行し、電気やガスの使用量削減に取り組めます。チャレンジ終了後、電気・ガスの検針表等から、前年の同じ月と比較した削減量を比較します。



<環境ライフ講座>

環境保全に対する啓発活動を担う人材を育成し、区内の環境保全活動を活性化することを目的として「環境ライフ講座」を開催しています。R2年度は、CATVを活用して啓発を行いました。



分野2 再生可能エネルギー等の利用促進

2-1 再生可能エネルギー利用

家庭への再生可能エネルギー等設備の導入支援及び区有施設における再生可能エネルギーの利用検討

2-2 先進的なエネルギー利用

水素エネルギーに関する区民・団体、事業者への情報提供・普及啓発、地域における利活用方策の検討及び次世代自動車の活用による電力利用検討

<2020（令和2）年度の主な取組内容>

2-1 再生可能エネルギー利用

- 再生可能エネルギー設備（太陽光発電システム）設置を助成しました。（19件）【環境政策課】

2-2 先進的なエネルギー利用

- 先進的なエネルギー設備（家庭用燃料電池）設置を助成しました。（44件）【環境政策課】
- 東京都の「Tokyoスイソ推進チーム」に参加して、水素エネルギーについて情報収集しました。【環境政策課】
- 水素エネルギーや水素社会のイメージについて、区HPの文京区環境基本計画コラムで紹介しました。【環境政策課】

【周知・啓発】

- CATVにて環境ライフ講座（前編：文京区における地球温暖化対策の取組、後編：エコライフの実践）を放送し、身近な取組等を紹介しました。（再掲）【環境政策課】
- 次世代を担う子どもたちへの環境教育の推進のため、環境教育教材等を送付しました。（2回）（再掲）【教育指導課】
- 区HPで再生可能エネルギーに関連する東京都等の情報や助成事業を紹介しました。（再掲）【環境政策課】

分野3 スマートシティの推進

3-1 環境に配慮した交通手段

自転車・公共交通機関の利用促進及び自転車利用環境の整備等による運輸部門からの二酸化炭素排出量の削減

3-2 環境に配慮したまちづくり

再開発等に合わせた効率的なエネルギー利用の検討、低炭素建築物の促進及び二酸化炭素を吸収するみどりの創出等によるまち全体のエネルギー効率の向上

<2020（令和2）年度の主な取組内容>

3-1 環境に配慮した交通手段

- 区報や区HPで、省エネルギー効果がある移動手段（エコドライブ（急発進をやめる、加減速の少ない運転等））について周知・啓発しました。（再掲）【環境政策課】
- 自転車シェアリング事業、レンタサイクル事業の実施や、自転車利用について区報、区HP、リーフレット等により周知しました。（再掲）【管理課】
- 区報や区HPで、コミュニティバス「Bーぐる」や電車等の公共交通機関の利用促進を行いました。（再掲）【区民課】【環境政策課】

- 区HPで電気自動車急速充電スタンド設置の情報提供を行いました。(再掲)【環境政策課】
- 自転車レーンの整備に向け、行政連絡調整会議を実施しました。【管理課】
- 自転車シェアリング事業実証実験(サイクルポートの利用状況や交通行動等)を実施し、令和2年度より本格実施へ移行しました。(文京区年間利用回数733,567回、文京区会員登録数34,996件、サイクルポート数68か所)【管理課】
- 自転車走行空間整備のため、自転車通行空間ネットワーク計画調整会議へ参加しました。【管理課】
- 自転車走行空間整備として、バリアフリー整備工事を実施しました。(バリアフリー整備工事(区道第834号)湯島二丁目18~15番先 247.4m)【道路課】
- 総合的な自転車対策の推進を実施しました。(自転車駐車場2か所新設・1か所増設、レンタサイクル事業において電動アシスト自転車60台整備)【管理課】
- 自転車TSマーク取得費用助成事業(定期的な点検整備、保険加入促進、利用者へのルール・マナーの周知・啓発)を実施しました。(1,706件)【管理課】

3-2 環境に配慮したまちづくり

- 低炭素建築物の認定を行いました。(88件)(再掲)【建築指導課】
- 街路灯・保安灯のLED化を実施しました。(464基(累計6,489基))【道路課】
- 都市計画事業である春日・後楽園駅前地区市街地再開発事業(北街区)において、オープンスペースが確保され、緑化が行われました。【都市計画課・地域整備課】
- ポケットパーク・グリーンスポットの整備を行いました。(ポケットパーク15箇所、グリーンスポット21箇所)【みどり公園課】
- 文京区みどりの保護条例に基づく緑化指導を行いました。(民間81件、公共7件)【みどり公園課】
- みどりのふれあい事業を実施しました。(木のクイズラリー参加人数181人 植物講演会参加人数22人 苗木配布参加人数135人 緑のサポートボランティア登録人数45人)【みどり公園課】
- 街路樹・植樹帯の保全を行いました。(区道街路樹42路線、区道植樹帯60路線)【みどり公園課】
- 屋上緑化補助を実施しました。(1件)【みどり公園課】
- 保護樹木・樹林の制度による樹木の維持管理支援を行いました。(申請件数45件、助成本数62件、樹林地箇所6か所)【みどり公園課】
- 区HP文京区環境基本計画コラムで、ZEH(ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス) ZEB(ネット・ゼロ・エネルギー・ビル)を紹介しました。【環境政策課】

<文京区自転車シェアリング事業>

文京区では、地域・観光の活性化、環境負荷軽減、放置自転車対策など幅広い効果が見込まれる自転車シェアリング事業の実証実験を平成29年1月から開始しました。実証実験において、利用状況、交通行動の変化等を調査した結果、自転車シェアリングが公共交通機関の一部としての役割を担保していることや、事業の持続性が確保できることが確認できたことから、令和2年4月1日より、本格実施に移行いたしました。



出典：文京区 HP

サイクルポート(目白台運動公園)

<親子で挑戦！木のクイズラリー>

緑化啓発事業の一環である「親子で挑戦！木のクイズラリー」が令和2年11月22日（日曜日）に開催されました。

区内在住・在学の小学生が親子で参加し、教育の森公園とその周辺にある9箇所の樹木を、クイズに答えながらまわりました。当日は好天にも恵まれ、参加された85組（181名）が見事全員ゴールしました。



出典：文京区 HP

分野4 循環型社会の形成

4-1 家庭系ごみの3R

生ごみの減量や食品ロス削減、家庭から出る不用品のリユースの促進及び区民等によるリサイクルの取組支援

4-2 事業系ごみの3R

ごみ排出に関する事業者への指導や自己処理の促進等の働きかけ及び区有施設における率先的なごみの削減

<2020（令和2）年度の主な取組内容>

4-1 家庭系ごみの3R

- 家庭系ごみにおけるリデュースの推進のため、Bunkyoごみダイエット通信の発行（6月・12月）、食品ロス削減レシピの情報提供、食品ロスに関するパネル展示を行いました。【リサイクル清掃課】
- 生ごみ減量活動の推進を行いました。（生ごみ減量講座 受講者20名、コンポスト化容器あっせんを行い、購入者に補助剤を支給 6件）【リサイクル清掃課】
- プラスチックごみ削減に向けた取組の普及啓発のために、チャットボットによる「ごみ分別案内サービス」利用者アンケート&プレゼントキャンペーンにおいて、利用者アンケートに回答した区内在住・在勤・在学者のうち、抽選で40名にステンレスボトルを配布しました。（応募総数154件）【リサイクル清掃課】
- 食品ロス削減に向けた取組として、ぶんきょう食べきり協力店の紹介や、リサイクル清掃課常設窓口及びイベント時の回収のほか、自宅訪問受取サービスにおいて、フードドライブを実施しました。（食品総回収量約1,402kg）【リサイクル清掃課】
- 集団回収の拡充のため、実践団体へ報奨金、回収業者へ支給金を9月・3月に支給しました。（支給額：25,506,802円）【リサイクル清掃課】
- 資源回収の拡充のため、HPやパンフレット等にて普及啓発を行いました。（粗大ごみの資源化量434,200kg・不燃ごみの資源化量（水銀含有物）49,887kg）【リサイクル清掃課】

4-2 事業系ごみの3R

- 大規模・中規模事業所の3R推進のため、立ち入り指導を行いました。（大規模建築物49件、中規模建築物45件）【リサイクル清掃課】

- 小規模事業所の3R推進のため、資源回収袋を購入し支援を行いました。(Rサークルオフィス文京：事業古紙回収袋1500枚、産業別リサイクル：裁落用紙回収袋(中)80枚、裁落用紙回収袋(小)20枚を購入)【リサイクル清掃課】
- 事業系ごみの自己処理の促進のため、許可業者への立ち入り検査及び指導を行いました。(1件)【リサイクル清掃課】
- 食品ロス削減月間(10月)において、区職員に向けて庁内に啓発ポスターの掲示や庁内放送、庁内電子掲示板で食品ロス削減レシピを紹介しました。【リサイクル清掃課】

【周知・啓発】

- 区ホームページ内に「動画で学ぶごみ減量」ページを新設しました。【リサイクル清掃課】
- リサイクル清掃課LINE公式アカウントのメニューパネル(トーク画面下部に大きく開くメニュー)をリニューアルし、「ごみと資源の分け方・出し方」や地域別のごみ出しカレンダー画像の確認のほか、粗大ごみ収集のインターネット申込サイトへの移動を可能にしました。【リサイクル清掃課】
- 9月及び11月にステージ・エコを開催し、各種資源回収及びフードドライブ、各種パネル展示を実施しました。【リサイクル清掃課】
- リサイクル推進サポーターに対して、他部署主催の環境関連講座募集(オンライン講座)や啓発紙の情報提供を行いました。【リサイクル清掃課】
- リサイクル推進協力店の登録及び取組内容を区ホームページ、リーフレットで紹介しました。(令和3年3月現在39店舗登録)【リサイクル清掃課】

<Bunkyoごみダイエット通信>

リサイクル清掃課では、3Rによる資源の有効活用など、ごみの発生抑制の意識啓発を目的として「Bunkyoごみダイエット通信」を発行しています。



出典：文京区 HP

<ぶんきょう食べきり協力店>

文京区では食品ロス削減に取り組む店舗を「ぶんきょう食べきり協力店」として登録し、その取組内容をご紹介します。(令和3年3月現在60店舗登録)



出典：文京区 HP

分野5 気候変動の影響への適応

5-1 自然災害対策

道路の治水対策等の推進、ハザードマップ作成や避難誘導対策及び災害対応の体制整備等による区民等の安全・安心確保

5-2 健康被害に関する対策

気候変動による熱中症発症数の増加や感染症の発症の可能性等について、区民等への情報提供

5-3 暑熱対策

街なかのみどりの確保、遮熱性舗装等の推進、打ち水用品の貸出、クールシェアスポットの提供及び利用促進等による暑さ対策

5-4 自然生態系に関する対策

気候変動による生態系への影響や、外来種の侵入・定着等の影響に関する情報収集及び対応策検討

<2020（令和2）年度の主な取組内容>

5-1 自然災害対策

<道路の治水対策等>

- 文京区洪水ハザードマップの更新及び高潮ハザードマップの作成を行いました。【防災課】
- 水防災監視システムの老朽化した機器等の入替えを行うとともに、再構築する災害情報システムとの機能連携について検討しました。【防災課】
- 土砂災害ハザードマップの更新に向けた検討を行いました。【防災課】
- 区HPにより、神田川2か所の水位情報及び河川監視カメラの映像、区内5か所の雨量情報を発信しました。【防災課】
- 道路における治水対策を行いました。（透水性舗装 整備施工：2,309㎡ 清掃：39,422㎡、雨水浸透ます 設置：8個 清掃：250個）【道路課】
- 水害用土のうの備蓄及び配布を行いました。（土のう備蓄合計 3,409袋）【道路課】
- 取水貯留槽の指導を行いました。（実績1,718㎡）【管理課】
- 雨水流出抑制施設の設置に関する指導を行いました。（34件）【管理課】
- 雨水タンク導入設置費助成を行いました。（1件）【環境政策課】
- 崖等整備資金助成を行いました。（3件）【地域整備課】
- 下水道局と工事等の連携をしました。（公共下水道枝線整備工事：170.55m（小石川二丁目付近）、下水道施設整備工事：75.2m（千駄木二丁目付近））【道路課】

<避難誘導対策等>

- 区立小・中学校等の指定避難所へ避難所開設キットを導入しました。（33か所）【防災課】
- 防災士の資格取得助成を行いました。（12件）【防災課】
- 防災対策の充実・強化に向け、発電機、蓄電池等の非常用電源、パーティション等の新型コロナウイルス対策物資の配備を行いました。【防災課】
- 区民防災組織等の活動助成を行いました。（区民防災組織等の活動助成：12件、備品等購入費助成等：3件）【防災課】
- 避難所運営協議会の防災訓練実施費用の助成を行いました。（5件）【防災課】
- 避難行動要支援者の支援として、要支援者名簿や避難支援計画の作成を行いました。（同意式名簿の登録者数：2,266人 そのうち個別計画作成：1,742人）【防災課】

<災害対応の体制整備等>

- 事業者等との災害協定を拡充しました。（令和2年度の新規災害協定：11件）【防災課】
- 文京区災害時受援応援計画策定委員会及び作業部会を各2回開催し、令和3年3月に文京区災害時受援応援計画を策定しました。【防災課】
- 災害ボランティアセンターの設置・運営について、文京区社会福祉協議会が新たに他自治体

(魚沼市)の社会福祉協議会と協定を結びました。災害ボランティアセンター設置訓練では、災害時における外国人への情報伝達のあり方について研修を行いました。【福祉政策課】

- 医師会・歯科医師会・薬剤師会会員を対象としたトリアージ研修を実施するとともに、医療救護所備蓄の医薬品・医療資器材を更新しました。【生活衛生課】

5-2 健康被害に関する対策

- 熱中症予防に関し、ポスター・リーフレット・うちわの配布、熱中症警戒アラート（試行）による注意喚起を行いました。【健康推進課】
- 高齢者への熱中症予防に関する普及啓発を行いました。（電話・訪問による啓発：3,330件、出張講座開催回数：40回、参加者：684人）【高齢福祉課】
- クールシェアスポットの提供として、ぶんきょう涼み処を開設しました。（全34か所）【健康推進課】
- 区HPに衛生害虫に関する情報等、感染症予防に関する情報発信を行いました。【生活衛生課】
- 日本脳炎の定期予防接種等、予防接種事業を実施しました。【予防対策課】
- 東京都環境確保条例によりディーゼル車排出ガス規制を実施し、窒素酸化物の排出量削減対策として、事業者の低公害車導入にあたり、適合車種の認定を行いました。【環境政策課】
- 光化学スモッグの原因となるオキシダント抑制のために、原因物質の一つであるVOC(揮発性有機化合物)に対する技術支援や低VOC製品の普及・啓発を行いました。【環境政策課】

5-3 暑熱対策

- 打ち水用品の貸出を行いました。（1件）【環境政策課】
- 遮熱性舗装を実施しました。（コミュニティ道路補修工事（区道第1046号）：813㎡（更新）（千駄木五丁目21番～千駄木四丁目10番先））【道路課】
- 街路樹・植樹帯の保全を行いました。（区道街路樹42路線、区道植樹帯60路線）（再掲）【みどり公園課】
- 保護樹木・樹木の制度による樹木の維持管理支援を行いました。（申請件数45件、助成本数62件、樹林地箇所6か所）（再掲）【みどり公園課】
- 文京区みどりの保護条例に基づく緑化指導を行いました。（民間81件、公共7件）（再掲）【みどり公園課】
- 屋上緑化補助を行いました。（1件）（再掲）【みどり公園課】
- ポケットパーク・グリーンスポットの整備を行いました。（ポケットパーク15箇所、グリーンスポット21箇所）（再掲）【みどり公園課】
- クールシェアスポットの提供として、ぶんきょう涼み処を開設しました。（全34か所）（再掲）【健康推進課】

5-4 自然生態系に関する対策

- 身近な場所に生きものを呼べる緑化の推進をしました。（関口台公園、本郷給水所公苑）【みどり公園課】
- 街路樹・植樹帯の保全を行いました。（区道街路樹42路線、区道植樹帯60路線）（再掲）【みどり公園課】
- 保護樹木・樹木の制度による樹木の維持管理支援を行いました。（申請件数45件、助成本数62件、樹林地箇所6か所）（再掲）【みどり公園課】
- 文京区みどりの保護条例に基づく緑化指導を行いました。（民間81件、公共7件）（再掲）【みどり公園課】
- 屋上等緑化補助を行いました。（1件）（再掲）【みどり公園課】
- 神田川水系水質監視連絡協議会に出席しました。（4回）【環境政策課】
- 外来種の捕獲を行いました。【環境政策課】
- 文の京生きもの写真館（区ホームページ）で、季節の生きものアルバム春夏・秋冬版を掲載し、区内動植物の情報発信をしました。【環境政策課】
- 自然散策会を開催しました。（1回）【みどり公園課】
- 山村体験交流事業（川遊びや里山トレッキング、稲刈り体験等）を実施しました。（やまびこ荘7回、魚沼市観光協会4回）【区民課】

【周知・啓発】

- 区報、区HP及び庁内放送で、文京版クールアース・デーのテーマ「街中の暑さ対策」について周知しました。【環境政策課】
- CATVにて環境ライフ講座(前編：文京区における地球温暖化対策の取組、後編：エコライフの実践)を放送し、身近な取組等を紹介しました。(再掲)【環境政策課】

<避難所開設キット>

災害が起きた直後は混乱や人員不足等が想定されます。そのような状況において「参集した誰もが」、「躊躇なく」、「実働できる」ことを目的に、区内33か所すべての避難所に「避難所開設キット」を導入しました。



避難所開設キット外観



ふたを開けると「はじめにやること」のケースが目立つように収納されています。

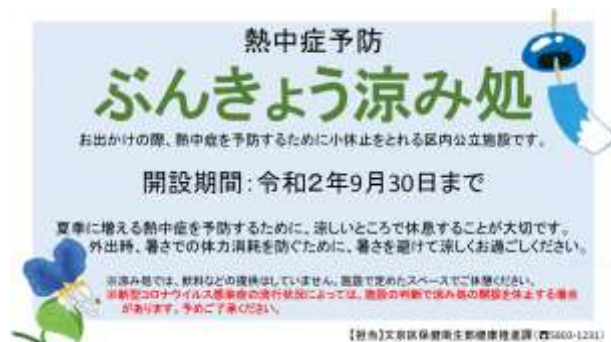


ケース下段には各班の手順書等が収納されています。

出典：文京区HP

<ぶんきょう涼み処>

暑さでの体力消耗を防ぐため、暑さを避けて涼しく過ごせるよう、期間を定めて「ぶんきょう涼み処」を開設しています。



出典：文京区HP

4. 本計画の進捗状況

4.1 進捗評価方法

本計画の進行管理にあたり、長期的にモニタリングしていく指標を設定し、アクションプランの進捗状況を把握しています。

アンケート結果等により現状値を求め、将来の目安値達成への進捗評価を行いました。

表 4-1 進捗評価方法

	現状の評価
達成の見込み有	◎
達成まで引き続き行動が必要	○
達成まで更なる行動が必要	△

4.2 進捗結果

2020（令和2）年度における評価可能な12指標のうち3指標において達成の見込み有、6指標で達成まで引き続き行動が必要、3指標は達成まで更なる行動が必要となりました。

省エネルギーの推進は「市内CO₂実排出量（床面積:100m²当たり）」は目安値を達成しましたが、「地球温暖化に関する意識向上率」は区民・事業者ともに計画策定時よりも低下し、より一層の向上を図る必要があります。

スマートシティの推進は「自転車シェアリング利用回数」は登録会員数の増加や連携区全体でのサイクルポートの増加により、計画策定時よりも2倍以上の増加となりましたが、「コミュニティバス利用者数」は新型コロナウイルスの感染拡大により、計画策定時よりも減少しました。

循環型社会の形成について、「区民1人1日当たりの総排出量」は減少し、「区民1人1日当たりの家庭ごみ排出量」は2019（令和元）年度から増加となりました。

気候変動の影響への適応は「熱中症救急搬送人員数」は基準年度より減少しましたが、地域防災力（活動助成率）や雨水浸透ます数は、達成まで更なる行動が必要です。

＜進行管理指標＞

分野	指標	計画策定時 (2018年度)	現状 (2020年度)	評価	将来の目安 (2030年度)
1 省エネルギーの推進	地球温暖化に対する意識向上率（区民）	91%	87%	○	100%
	地球温暖化に関する意識向上率（事業者）	89%	87%	○	100%
	庁内 CO ₂ 実排出量 (床面積:100 m ² 当たり)	4.17 t-CO ₂	2.83t-CO ₂	◎	3.10 t-CO ₂
2 再生可能エネルギー等の利用促進	区内再生可能エネルギー設備導入量	4,134 kW	4,569kW	○	4,953 kW
3 スマートシティの推進	コミュニティバス利用者数	933,503 人	637,488 人	△	現状より増加
	自転車シェアリング利用回数	345,211 回	733,567 回	◎	現状より増加
	緑被地面積	207.4 ha	— ha ^{※1}	—	214.5 ^{※2}
	緑被率	18.4%	— % ^{※1}	—	19 ^{※2}
4 循環型社会の形成	区民 1 人 1 日当たりの総排出量 ^{※3}	958g/人日 (2019 年度)	897g/人日	○	747
	区民 1 人 1 日当たりの家庭ごみ排出量 ^{※3}	358g/人日 (2019 年度)	367g/人日	○	269
5 気候変動の影響への適応	地域防災力（活動助成率）	68 件	34 件	△	現状より増加
	透水性舗装路線数	5 路線 ^{※4}	4 路線 ^{※4}	○	現状より増加
	雨水浸透ます数	18 個 ^{※4}	8 個 ^{※4}	△	現状より増加
	熱中症救急搬送人員数	94 名	69 名	◎	現状より減少

※1 複数年に 1 回の統計のため、本年度調査対象外

※2 「文京区みどりの基本計画」に合わせて目標年度を 2029 年度とします。

※3 「文京区一般廃棄物処理基本計画（令和 3 年 3 月策定）」に基づく数値とし、基準年度を 2019 年度とします。

※4 各年度内に新たに工事または設置した数

5. アンケート結果

区では、本計画の進捗状況を測るための手段の一つとして、区民、事業者に取組状況等のアンケート調査を実施しています。主なアンケート結果を示します。なお、集計結果は端数処理の関係により、合計が 100%とならないことがあります。

＜アンケート調査の概要＞

	区民	事業者	団体
対象	・20歳以上の住民基本台帳登録者 1,200人 (住民基本台帳から年齢別人口比率抽出)	・大規模事業者（業務部門） 31事業所 (都条例による指定（特定）地球温暖化対策事業所) ・中小規模事業者（業務部門） 500事業所 (商用データベースをもとに層別抽出)	・区内で環境活動等を行っている12団体
調査項目	・回答者の属性 ・地球温暖化対策に向けた行動について ・地球温暖化問題に関する意識・認知度について ・生物多様性に関する意識・認知度について	・回答者の属性 ・地球温暖化対策に関する行動について ・地球温暖化問題に関する意識・認知度について ・生物多様性に関する意識・認知度について	・回答者の属性 ・地球温暖化対策に関する行動について ・地球温暖化問題に関する意識・認知度について
回収率	28.4% (340/1197※) ※2015年度実施時は34.0% ※2016年度実施時は35.0% ※2017年度実施時は29.9% ※2018年度実施時は30.5% ※2019年度実施時は34.3% ※2020年度実施時は31.8%	35.7% (188/527※) 大規模事業者 53.3%(16/30※) 中小規模事業者 34.6% (172/497※) ※2015年度実施時は38.1% ※2016年度実施時は37.5% ※2017年度実施時は31.8% ※2018年度実施時は31.8% ※2019年度実施時は29.2% ※2020年度実施時は28.5%	33.3% (4/12) ※2015年度実施時は43.5% ※2016年度実施時は66.7% ※2017年度実施時は63.2% ※2018年度実施時は71.4% ※2019年度実施時は64.3% ※2020年度実施時は50.0%
実施時期	2021年5月27日発送 6月14日投函〆切		
発送回収方法	調査票の郵送回収		
送付資料	・依頼文 ・調査票 ・普及啓発チラシ（「文京区地球温暖化対策地域推進計画の概要」と「文の京生きもの写真館」）		

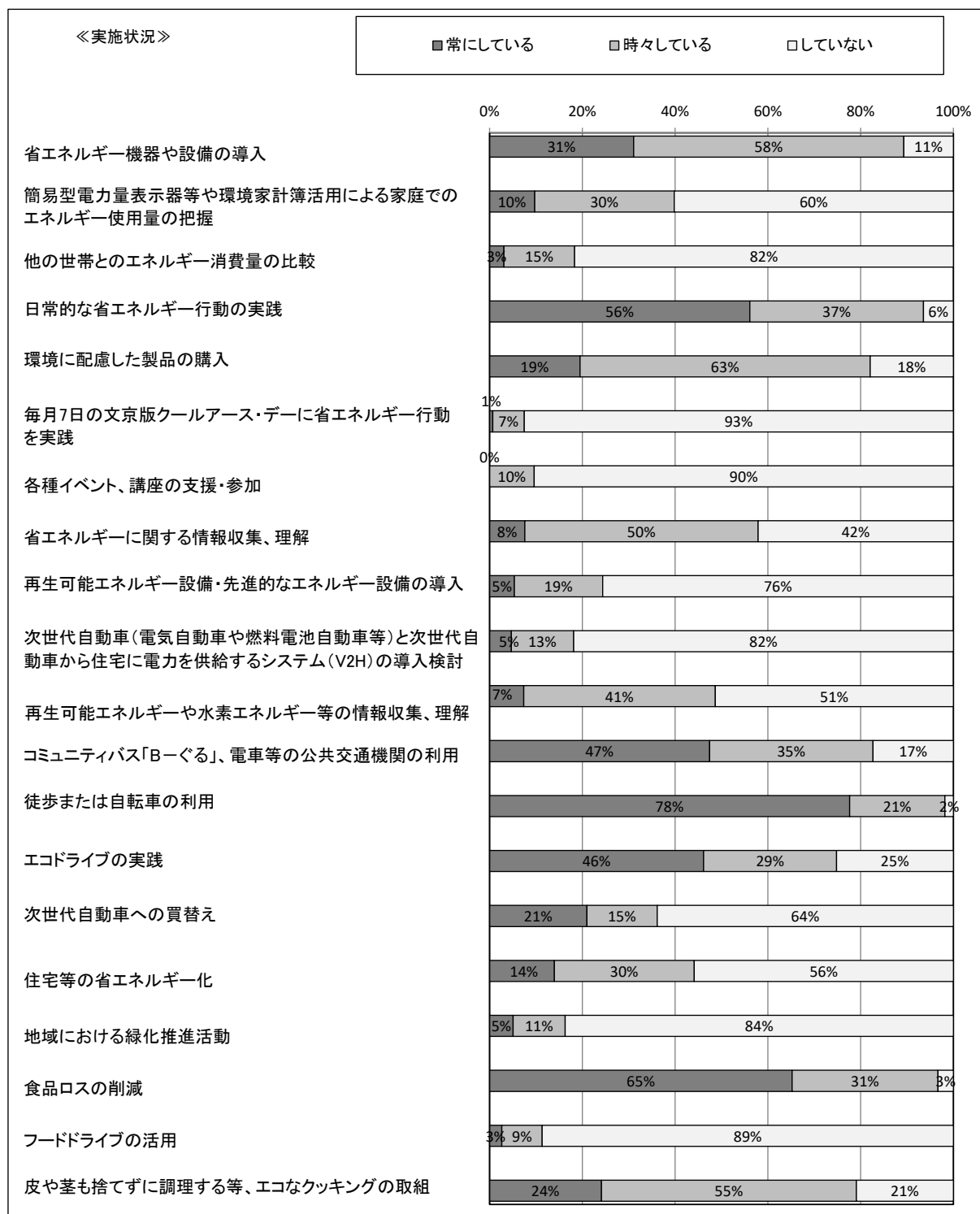
※宛先不明で返却された分は、母数から除外している。

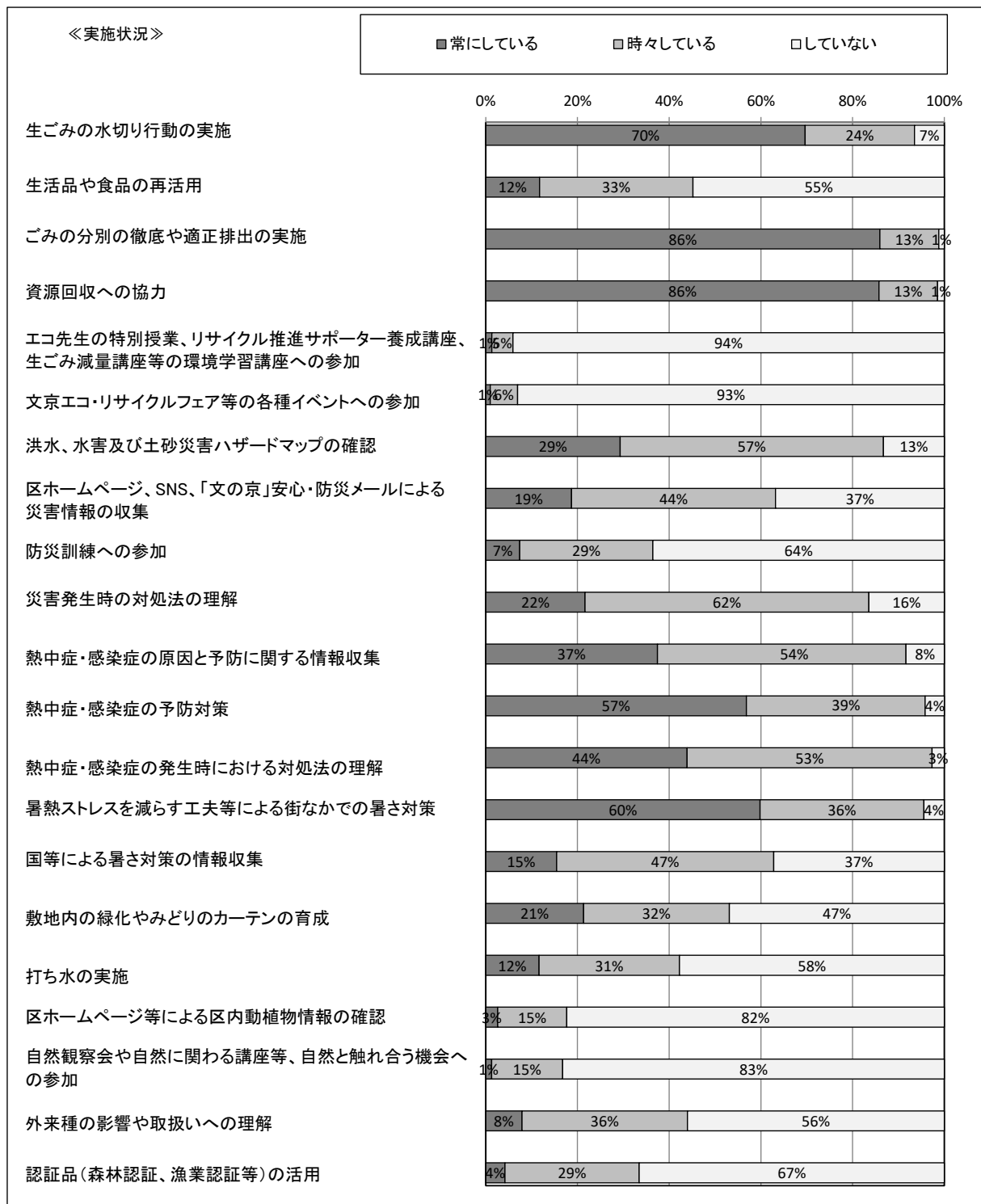
5.1 区民

(1) 地球温暖化対策に向けた行動

実施率（「常にしている」、「時々している」の合計）について、9割以上の実施率となっているものが、下記10項目となっている。

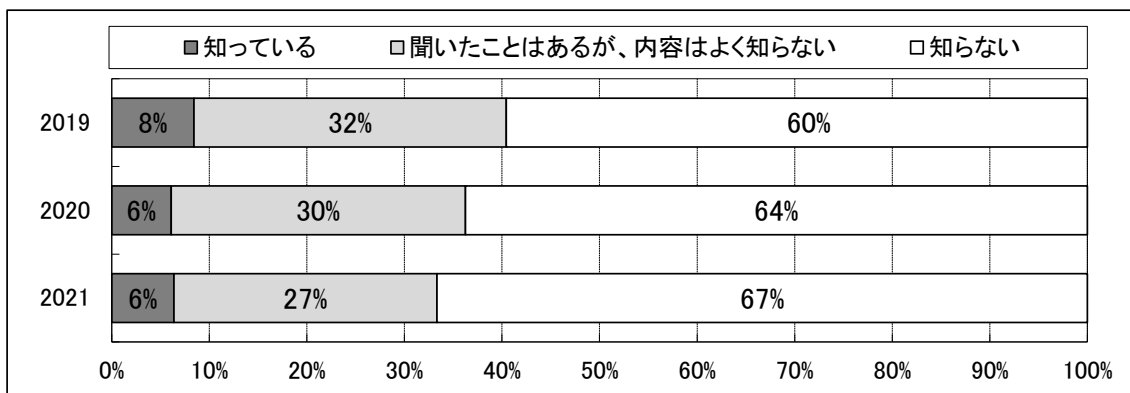
（「日常的な省エネルギーの行動の実践」、「徒歩または自転車の利用」、「食品ロスの削減」、「生ごみの水きり行動の実施」、「ごみの分別の徹底や適性排出の実施」、「資源回収への協力」、「熱中症・感染症の原因と予防に関する情報収集」、「熱中症・感染症の予防対策」、「熱中症・感染症の発生時における対処法の理解」、「暑熱ストレスを減らす工夫等による街なかでの暑さ対策」。）





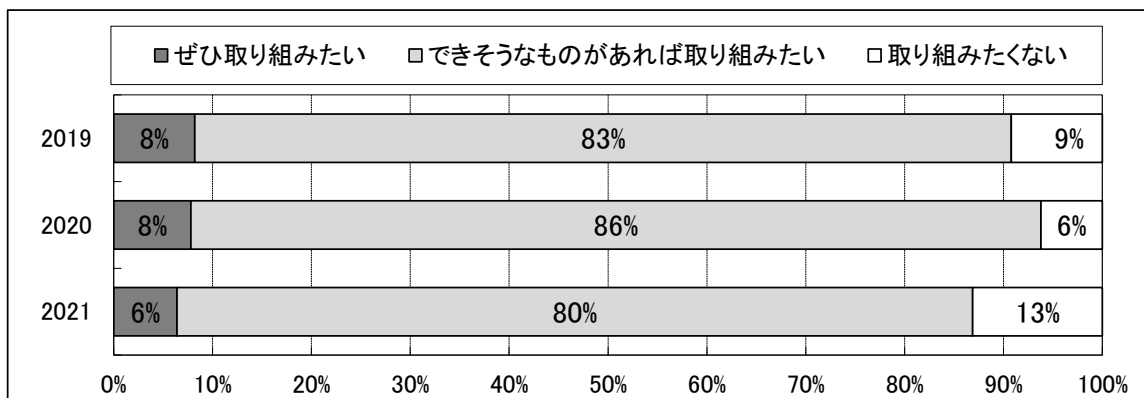
(2) 「文京区地球温暖化対策地域推進計画」の認知度

「知っている」の割合が1割未満と低い。「聞いたことはあるが、内容はよく知らない」を加えても認知度は3~4割程度にとどまる。経年的に見ても、前年度までに比べ認知度はやや低くなっている。



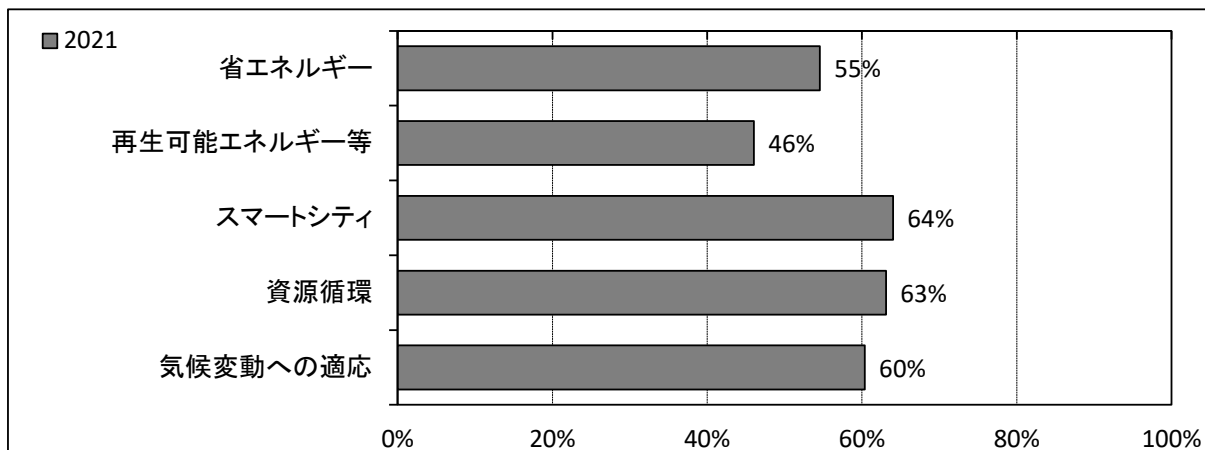
(3) 地球温暖化対策の行動（アクションプラン）に関する取組意識

「ぜひ取り組みたい」、「できそうなものがあれば取り組みたい」を合計した割合は、8~9割程度で高い取組意識度を維持しているが、経年的に見ると前年度までの9割以上の状態に比べ、取組意識はやや低くなっている。



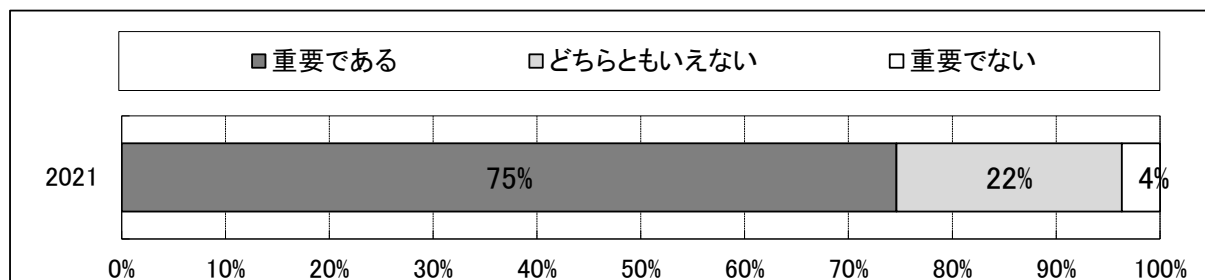
(4) 今後の地球温暖化対策として興味・関心がある分野について

「スマートシティ」、「資源循環」、「気候変動への適応」の割合が6割程度と高く、次いで「省エネルギー」が5割程度、「再生可能エネルギー等」が4割程度となっている。



(5) 脱炭素社会を目指すことについて

「重要である」が7割以上となっており、関心は高い傾向がある。



5.2 事業者

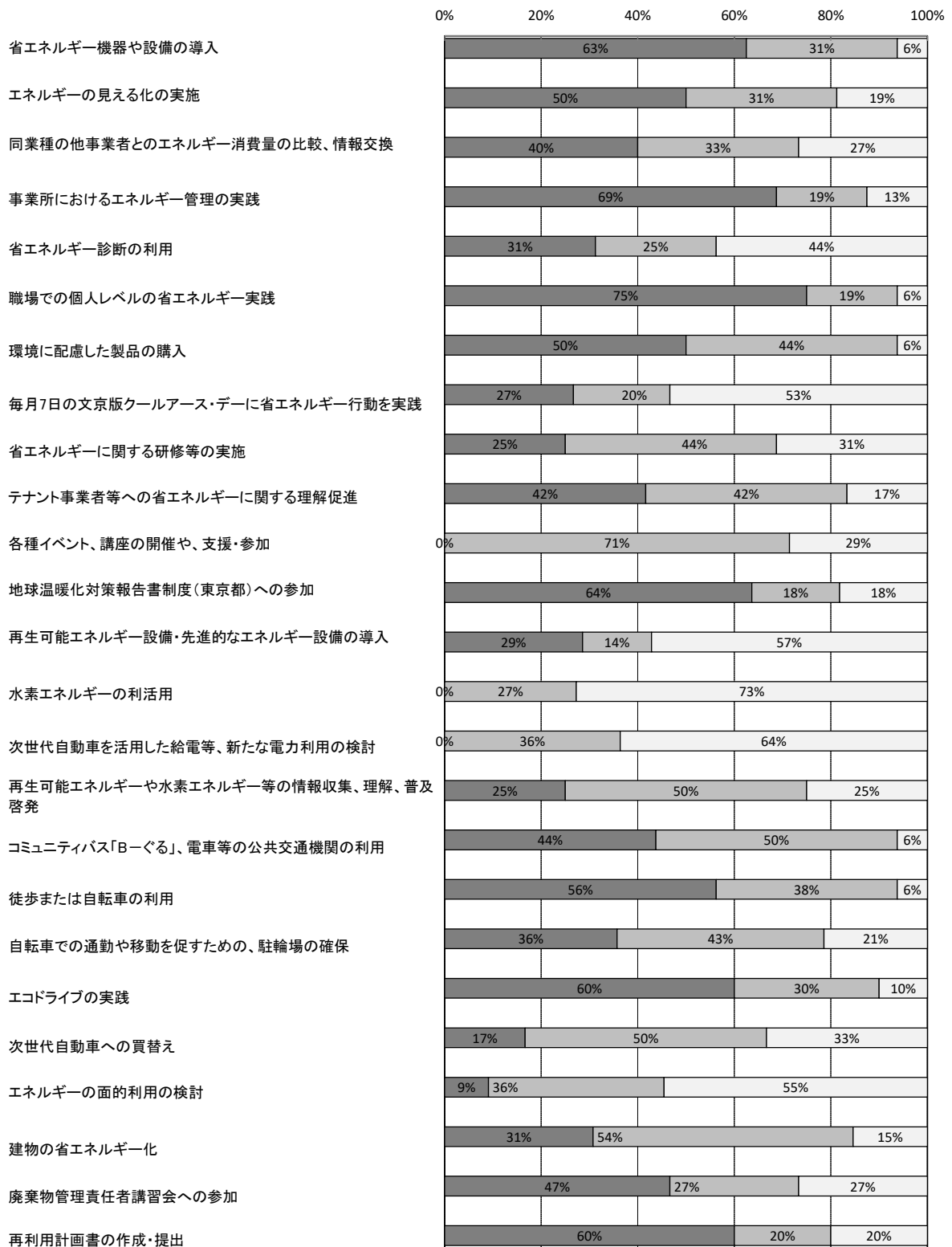
(1) 地球温暖化対策に向けた行動

大規模事業者の実施率（「常にしている」、「時々している」の合計）について、9割以上の実施率となっているものが、下記16項目となっている。

（「省エネルギー機器や設備の導入」、「職場での個人レベルの省エネルギー実践」、「環境に配慮した製品の購入」、「コミュニティバス『B-ぐる』、電車等の公共交通機関の利用」、「徒歩または自転車の利用」、「エコドライブの実践」、「再生品の利用」、「ごみの分別の徹底」、「有害廃棄物や産業廃棄物等の適正処理の実施」、「資源回収への協力」、「災害発生時の対処法の理解」、「熱中症・感染症の原因と予防に関する情報収集」、「職場における熱中症・感染症の予防対策」、「熱中症・感染症の発生時における対処法の理解」、「主催イベント等での熱中症対策」、「暑熱ストレスを減らす工夫等による街なかでの暑さ対策」。

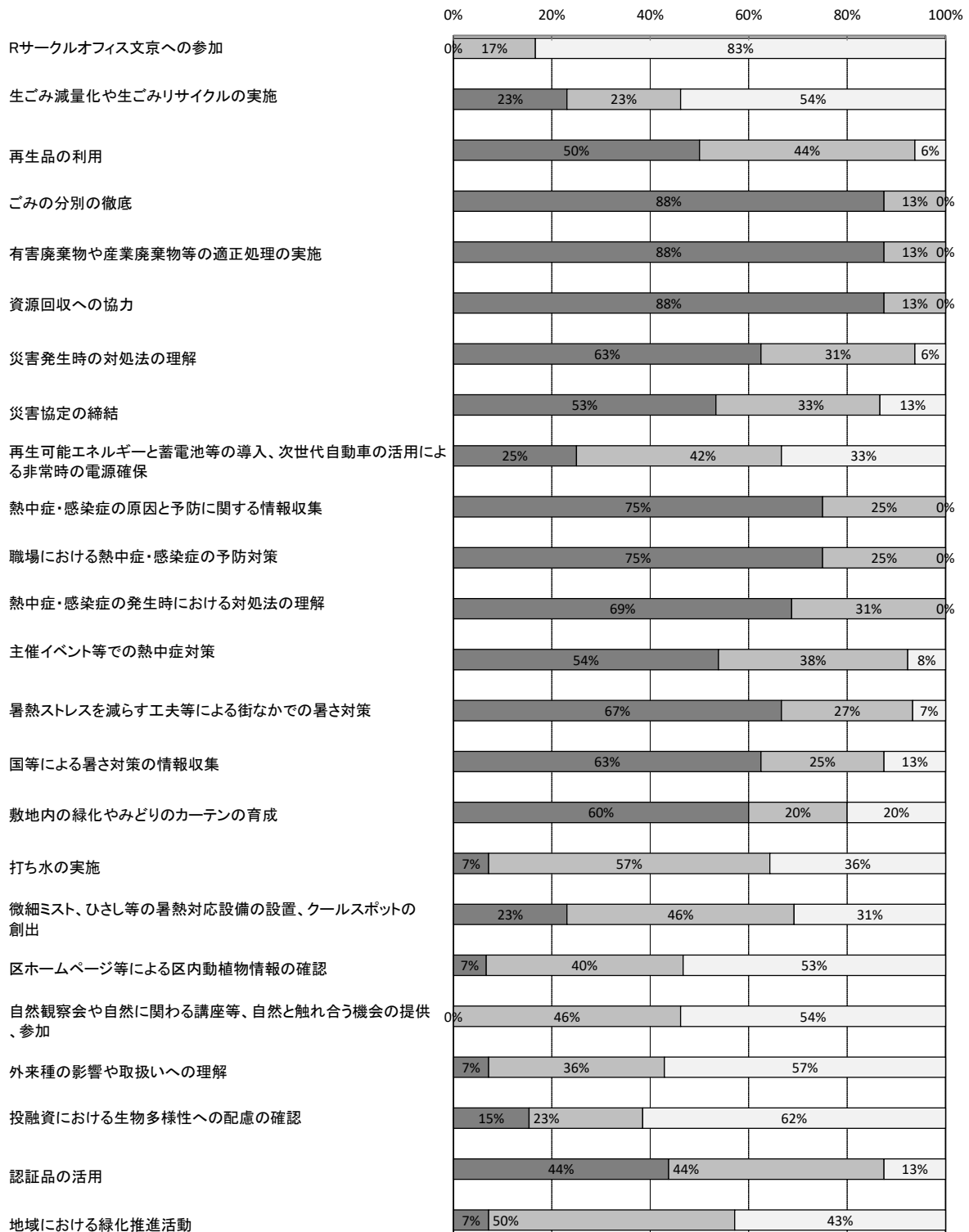
《大規模 実施状況》
1/2

■ 常に行っている □ 時々している □ していない



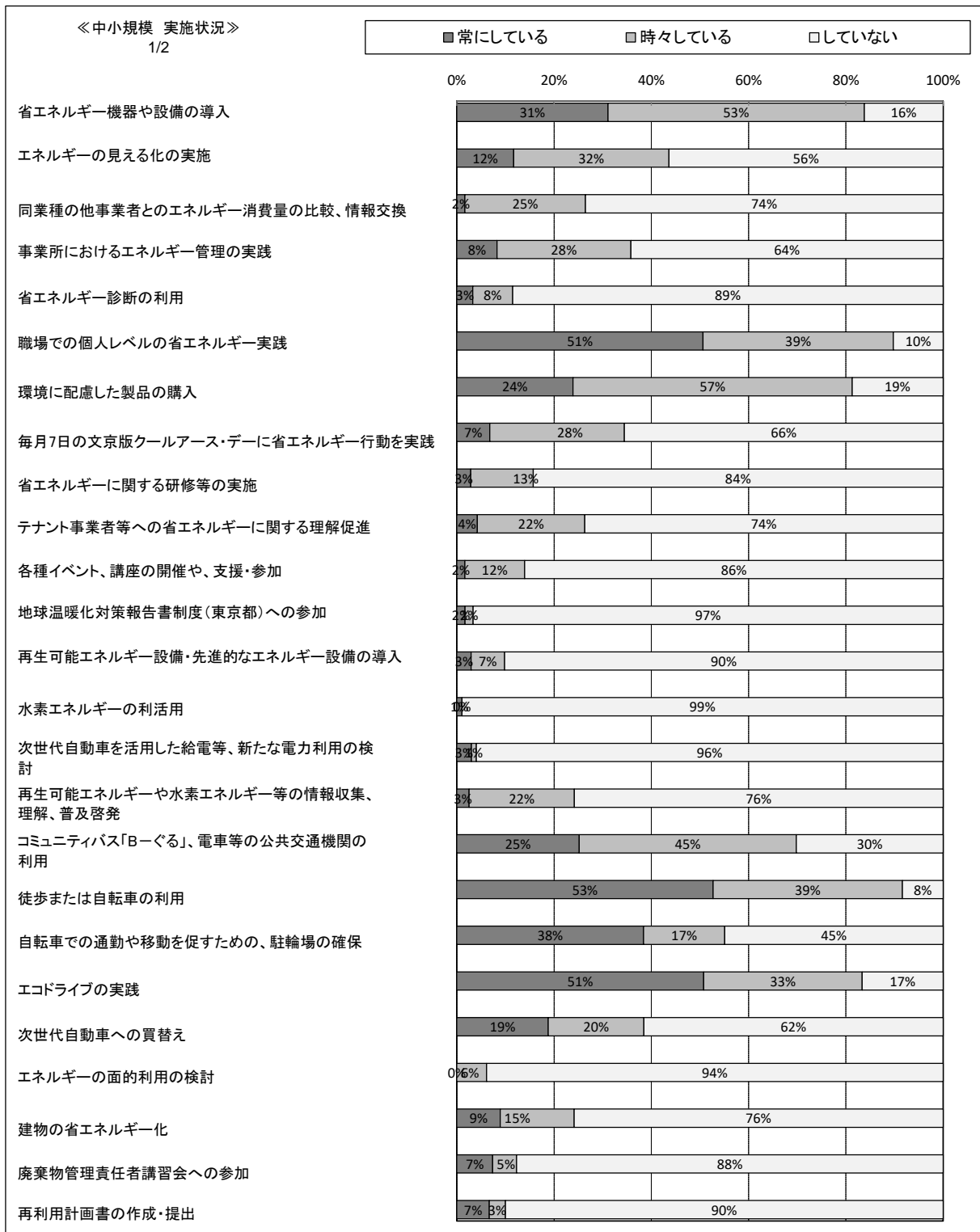
《大規模 実施状況》
2/2

■ 常に行っている □ 時々している □ していない



中小規模事業者の実施率（「常にしている」、「時々している」の合計）について、9割以上の実施率となっているものが、下記7項目となっている。

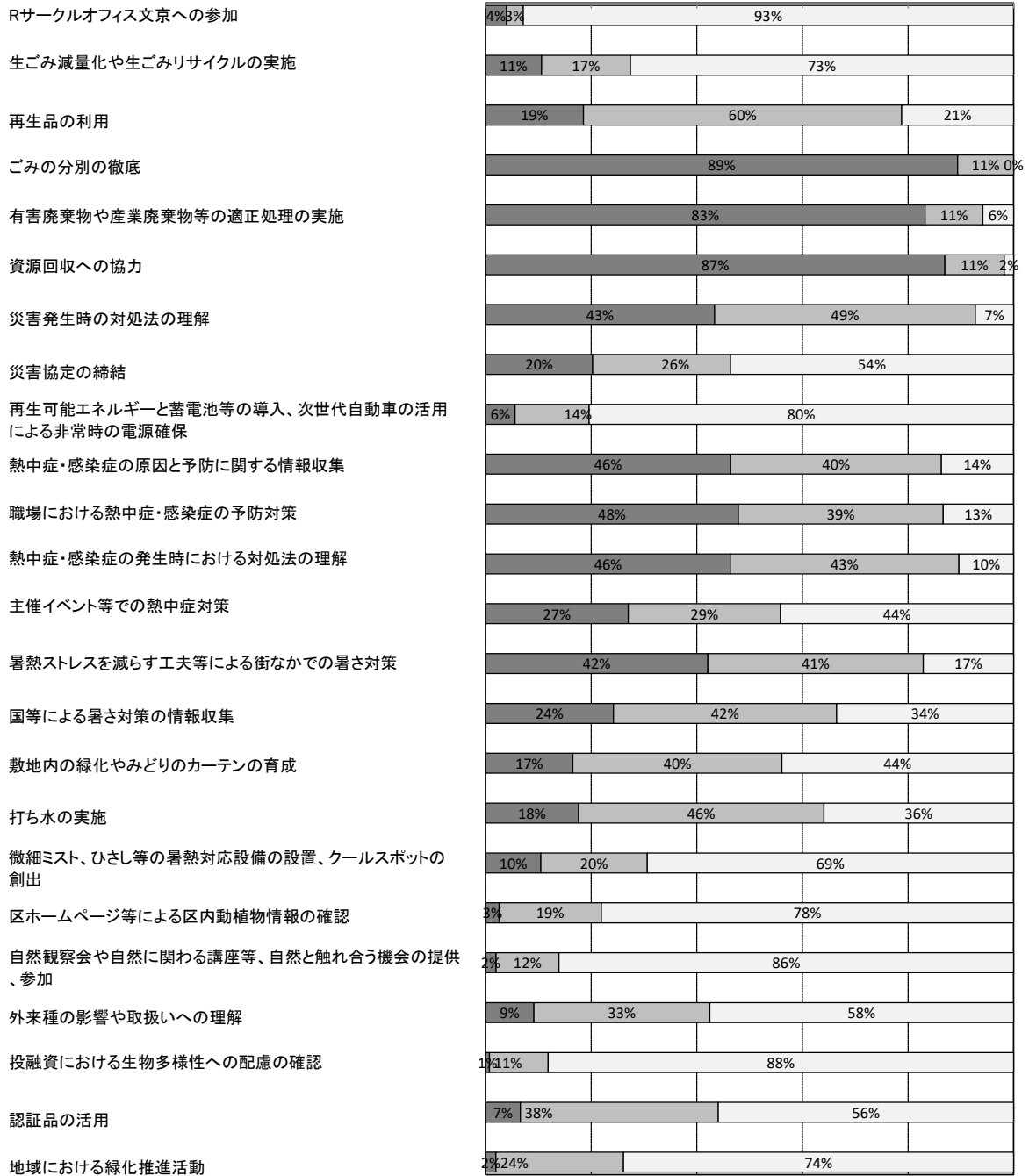
（「職場での個人レベルの省エネルギーの実践」、「徒歩または自転車の利用」、「ごみの分別の徹底」、「有害廃棄物や産業廃棄物等の適正処理の実施」、「資源回収への協力」、「災害発生時の対処法の理解」、「熱中症・感染症の発生時における対処法の理解」。）



《中小規模 実施状況》
2/2

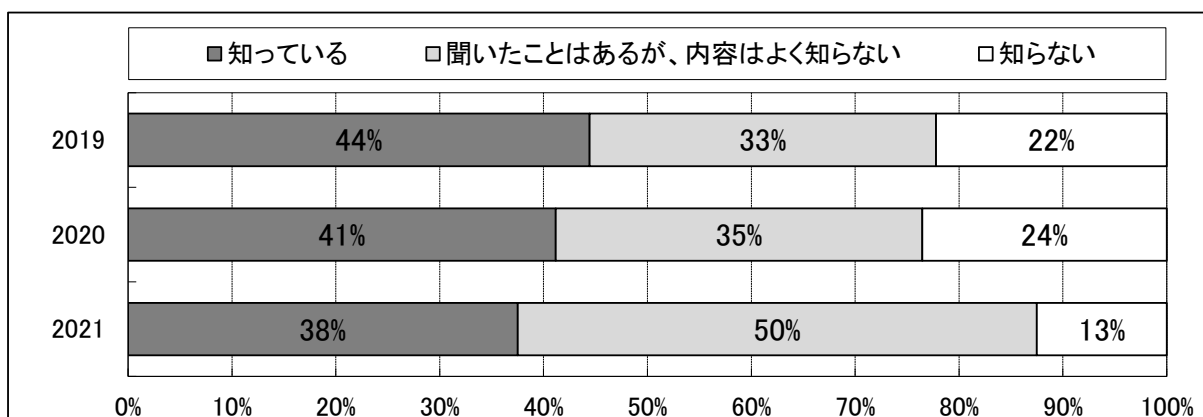
■ 常に行っている □ 時々している □ していない

0% 20% 40% 60% 80% 100%

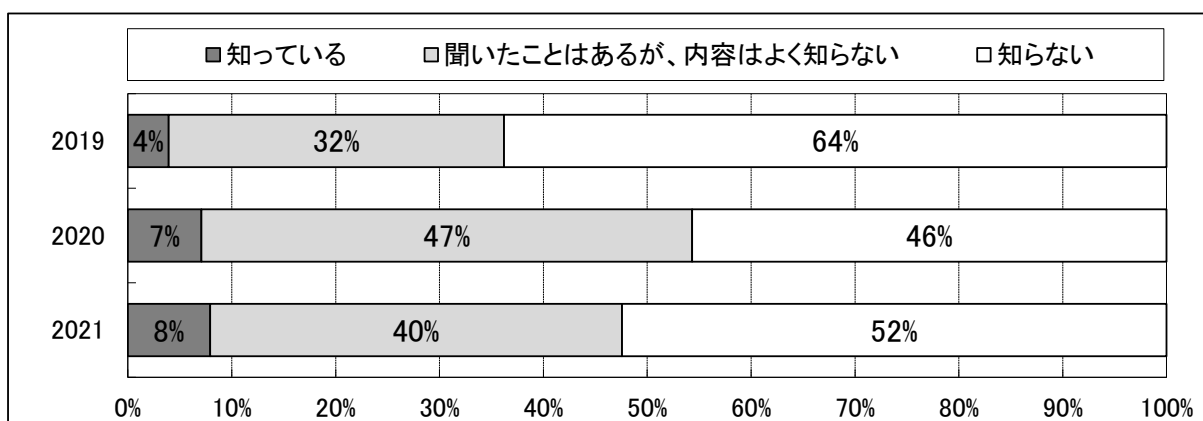


(2) 「文京区地球温暖化対策地域推進計画」の認知度

大規模事業者では「知っている」の割合が4割程度で、「聞いたことはあるが、内容はよく知らない」を合計すると8割程度となっている。経年で見ると、前年度よりも認知度は上昇している。

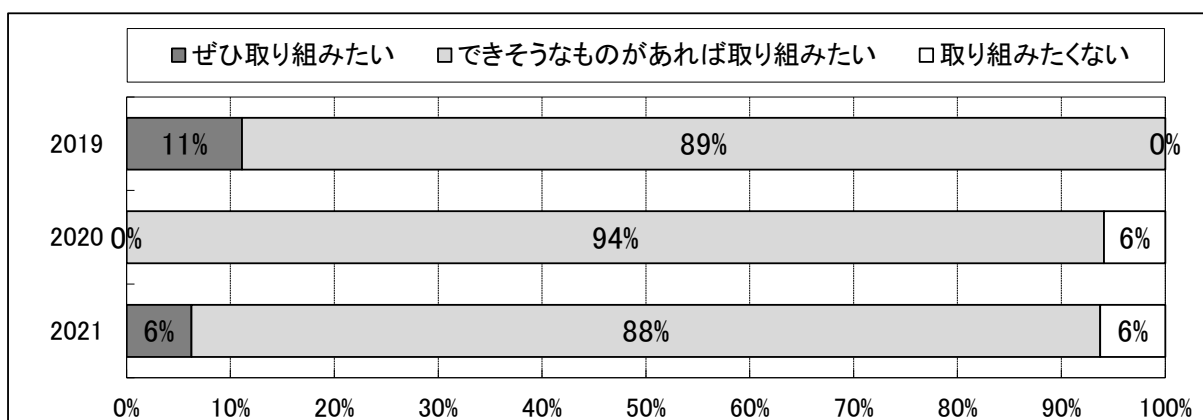


中小規模事業者では「知っている」の割合が1割未満で認知度は低く、「聞いたことはあるが、内容はよく知らない」を合計すると4~5割程度となっている。経年で見ると前年度よりも認知度は下降している。

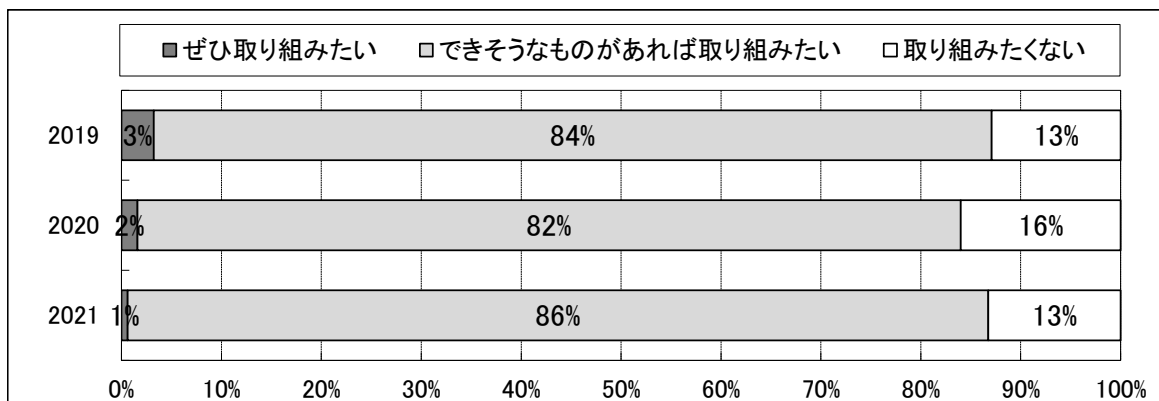


(3) 地球温暖化対策の行動（アクションプラン）に関する取組意識

大規模事業者では「ぜひ取り組みたい」、「できそうなものがあれば取り組みたい」の合計が9割以上を占め、経年的に見ても高い取組意識を維持している。

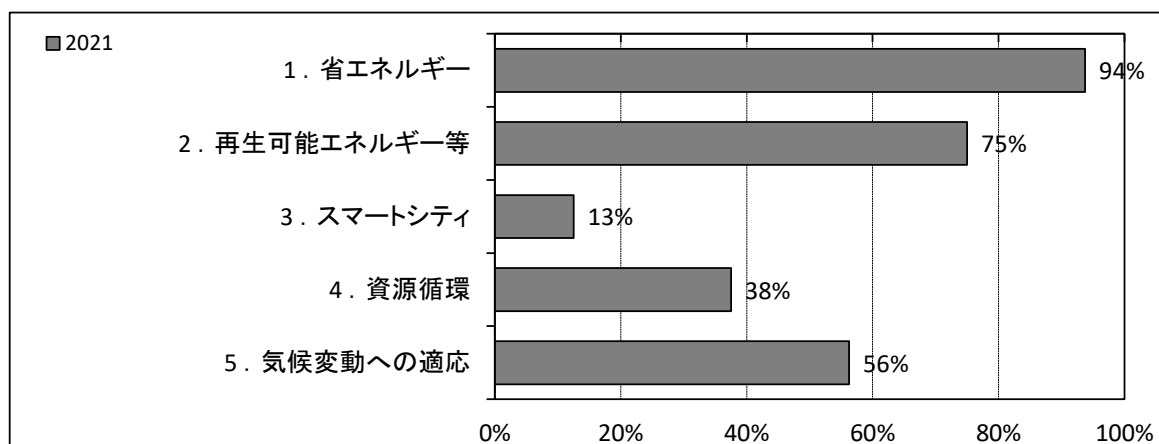


中小規模事業者でも、「ぜひ取り組みたい」、「できそうなものがあれば取り組みたい」を合計すると8割以上で、同様に高い取組意識を維持している。

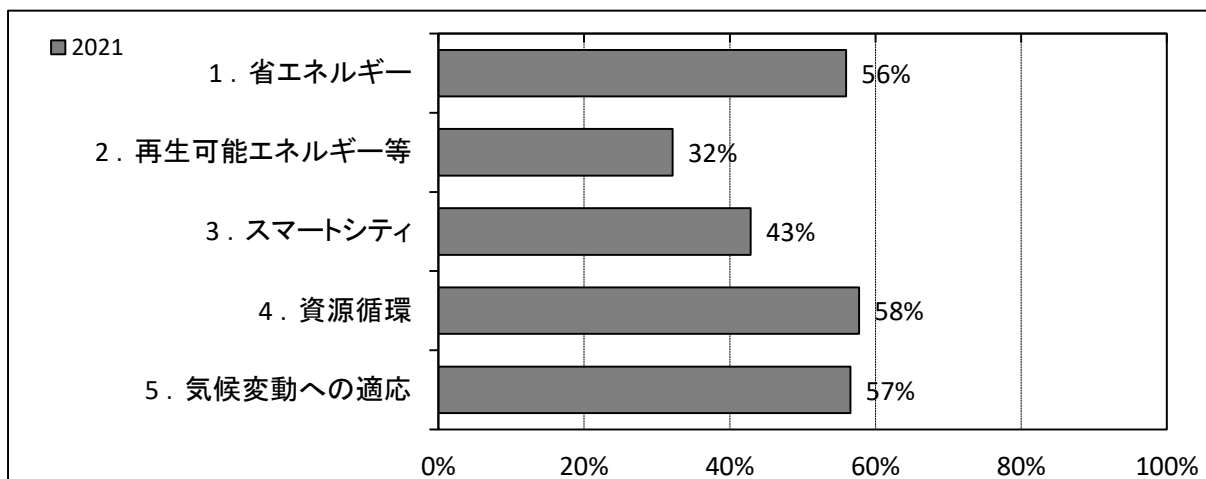


(4) 今後の地球温暖化対策として興味・関心がある分野について

大規模事業者では、「省エネルギー」の割合が9割以上と最も高く、次いで「再生可能エネルギー等」が7割以上、「気候変動への適応」、「資源循環」が3~5割程度となり、「スマートシティ」が1割程度と最も低くなっている。

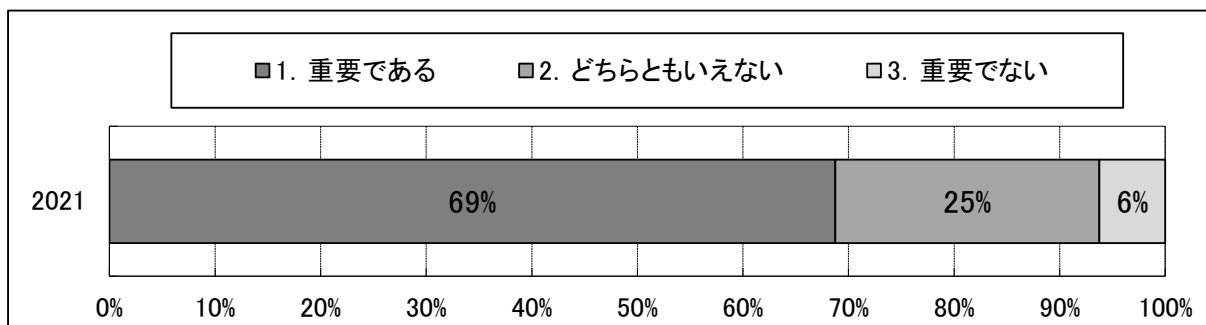


中小規模事業者では、全体的に6割未満と関心が低く、「省エネルギー」、「気候変動への適応」、「資源循環」が6割程度、次いで「再生可能エネルギー等」、「スマートシティ」が3~4割程度となっている。

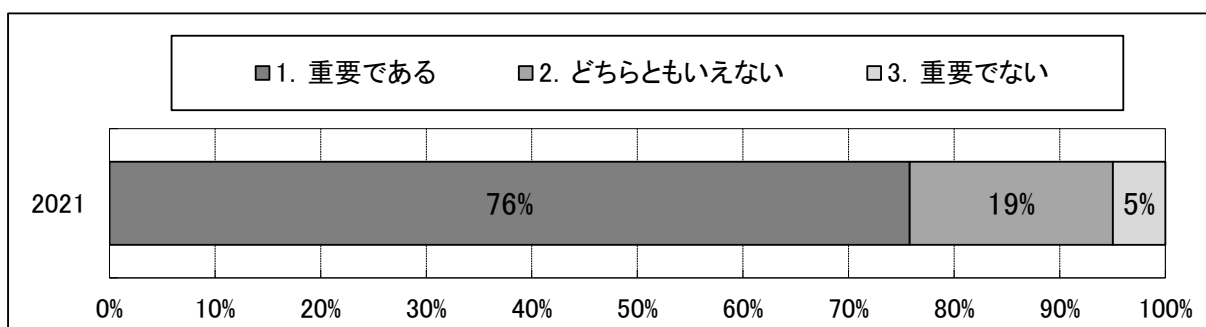


(5) 脱炭素社会を目指すことについて

大規模事業者では「重要である」が7割程度と重要性が高くなっている。



中小規模事業者では「重要である」が7割以上と重要性が高くなっている。

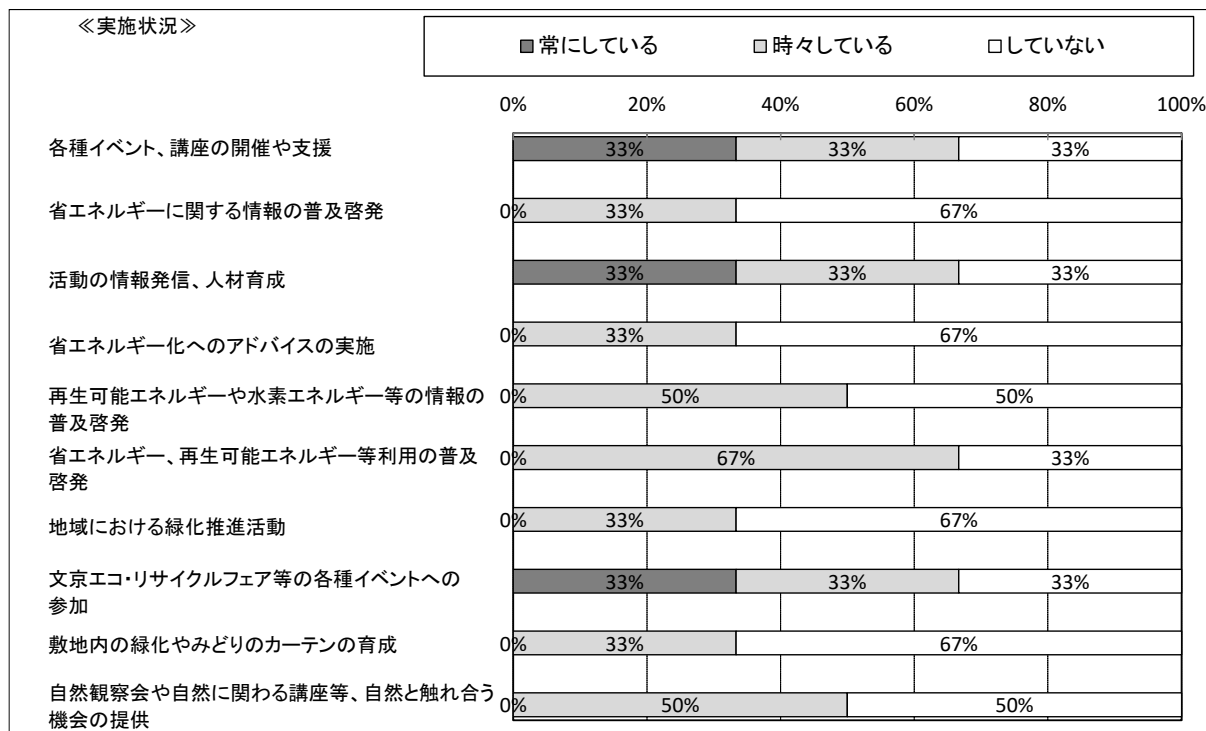


5.3 団体

(1) 地球温暖化対策に向けた行動

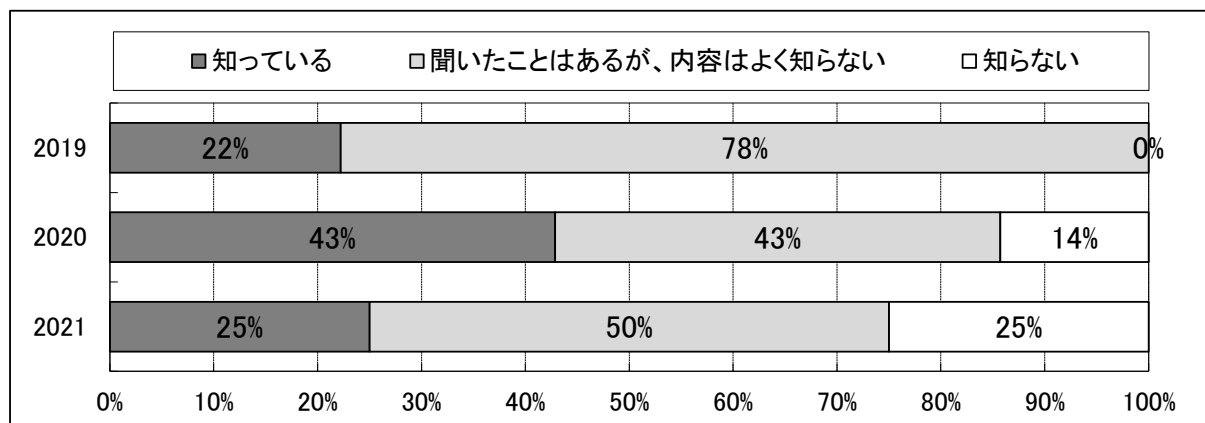
実施率（「常にしている」、「時々している」の合計）について、全体的に7割未満となっている。比較的高いものが下記4項目となっている。

（「各種イベント、講座の開催や支援」、「活動の情報発信、人材育成」、「省エネルギー、再生可能エネルギー等利用の普及啓発」、「文京エコ・リサイクルフェア等の各種イベントへの参加」）。



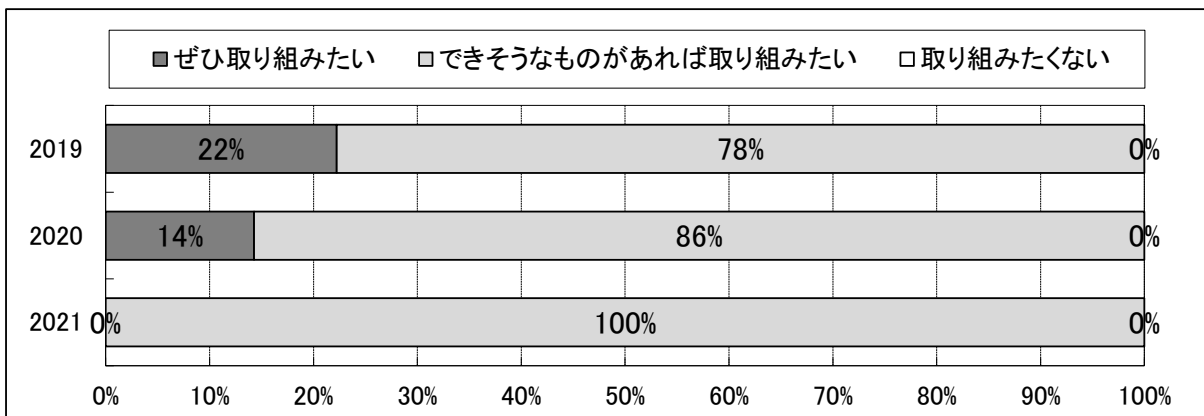
(2) 「文京区地球温暖化対策地域推進計画」の認知度

「知っている」の割合が2割程度、「聞いたことはあるが、内容はよく知らない」を合計すると7割以上となっているが、経年的にみると、前年度より認知度は低くなっている。



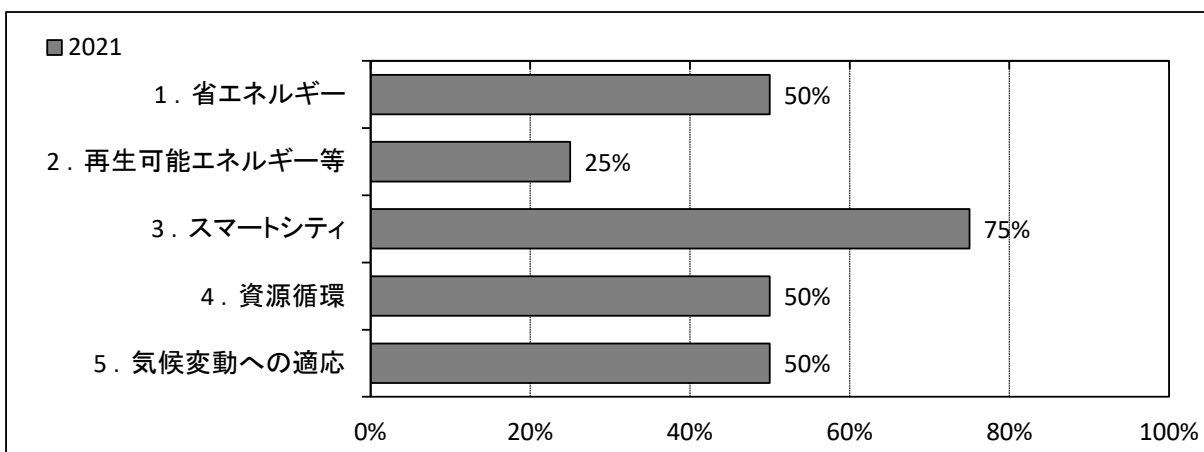
(3) 地球温暖化対策の行動（アクションプラン）に関する取組意識

「できそうなものがあれば取り組みたい」が10割となっている。



(4) 今後の地球温暖化対策として興味・関心がある分野について

「スマートシティ」の割合が7割以上と最も高く、次いで「省エネルギー」「資源循環」「気候変動への適応」が5割、「再生可能エネルギー等」が2割以上となっている。



(5) 2050年までの脱炭素化社会を目指すことについて

「協力する」が7割以上となっており、比較的高い割合となっている。

